

使用に当たって、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要なときに読めるよう大切に保存してください。

医薬品

ピレトK

解熱鎮痛薬

ピレトKは、頭痛、歯痛、生理痛、神経痛などの痛みをしずめるのにすぐれた効果を発揮する鎮痛・解熱薬です。

いろいろな原因による悪寒、発熱時の熱をさげる作用もあります。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください

- (1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 3歳未満の乳幼児。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください 他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください

(眠気があらわれることがあります)

4. 服用時は飲酒しないでください

5. 長期連用しないでください



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 授乳中の人。
- (4) 水痘（水ぼうそう）若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児（15才未満）。
- (5) 高齢者。
- (6) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (7) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (8) 次の診断を受けた人。

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 ステイブンス・ジョンソン症候群、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮ふや白目が黄色くなる）等があらわれる。
ぜんそく	

(2)5～6回服用しても症状がよくなりえない場合

効能・効果

1. 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
2. 悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

次の1回量を1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用します。服用間隔は6時間以上おいてください。

年 齢	1回量
15歳以上	1包
11歳以上15歳未満	2/3包
7歳以上11歳未満	1/2包
3歳以上7歳未満	1/3包

- (1)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (2)1包を分割して使用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に使用してください。

成分・分量

2包中 (2.8g)

目 局	アセトアミノフェン	0.6g
〃	エテンザミド	1g
〃	無水カフェイン	0.2g
〃	ブロムワレリル尿素	0.3g

添加物として乳糖、白糖、CMC-Ca、CMCを含有します。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手のとどかない所に保管してください。

お客様相談室 058-271-9481 (9:00～17:00 土・日・祝祭日を除く)

製造販売元 **大生堂薬品工業株式会社**

岐阜市六条大溝3丁目3番17号